

背景と目的



幼少期から現在でも続けている書に着目し、書を展示する書道館を設計。半紙の透過性や書の濃淡また組子の特徴を利用して書と光と建築に関係性を持たせた空間を提案。書の配置によって空間に

変化を与えたり、空間を仕切るために組子や半紙を使用することで、組子の隙間を通して光や書が漏れたりする。新しい書の見方ができるような様々な展示方法や照明方法を考える。また、書を透過した光が組子で仕切られた内壁や外壁から漏れ出し、建物全体が一つの行灯となるような計画とした。

書に対する照明法

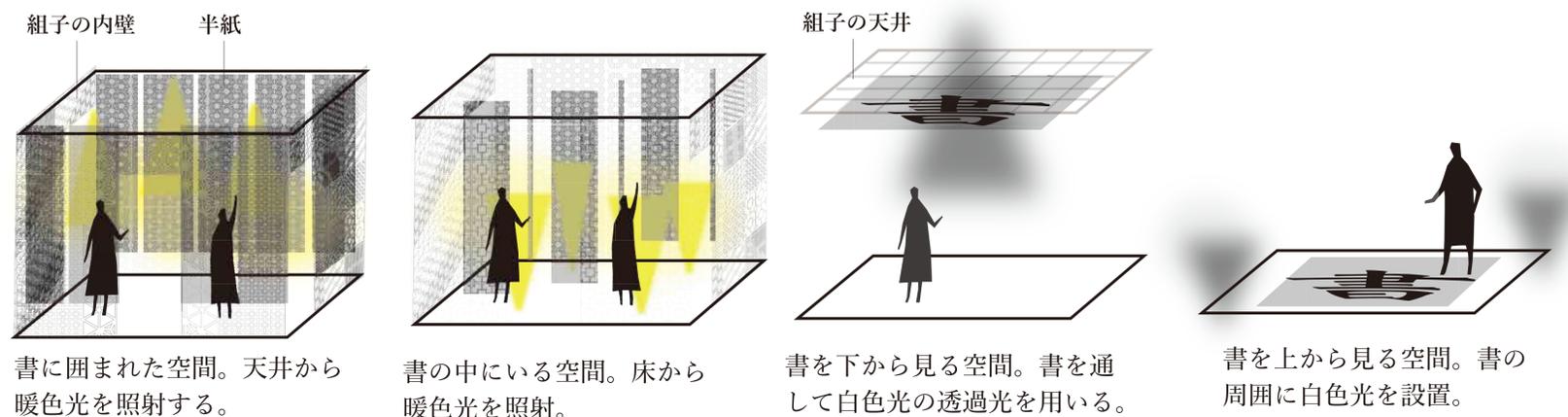
既存のもの



展示間接照明 / ウォールウォッシャー / スポットライト

展示物の書を天井から照明するのが一般。照度は150~300lx。均質な一室ごとに区切られた空間ごとに展示物を展示し、それぞれの空間が壁で隔てられている。照明はどの空間、どの書に対しても同じ照明法を用いる。

新しい提案



書と光と建築空間の融合

6つの書の見せ方の空間で構成

書を上から見る空間

足元に書を設置して書の上を歩く

書に囲まれる空間

空間全体が1つの書になる

書の中にある空間

書の中を通り抜けるような体験

書を下から見る空間

透過光が書を通して漏れて天井照明のよう

パフォーマンス空間

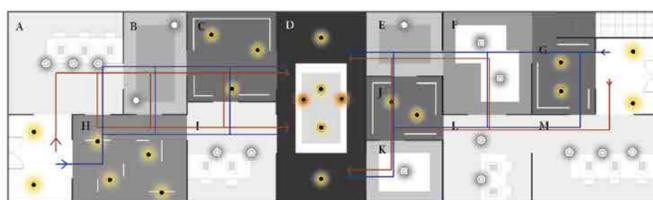
書道パフォーマンスを行う

書道体験空間

実際に書を体験でき、壁に作品を飾る

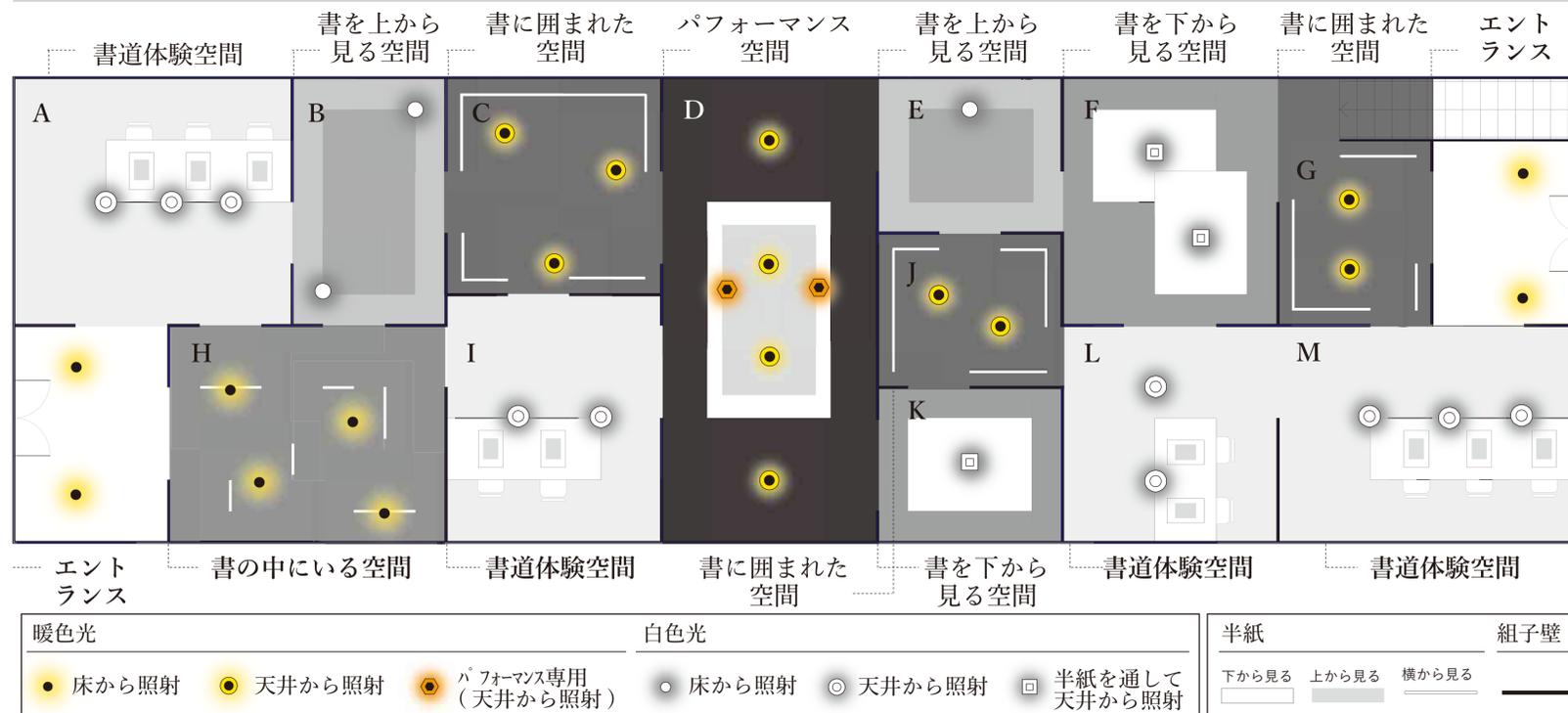
6つの用途の違う空間が入り混じることで、鑑賞者が飽きることなく書を見ることができる。また、異なる用途の空間が隣合うことで組子から見える隣の空間の光の漏れや書を感じ、次の空間へ鑑賞者を誘導。

シーケンス



どの空間にいてもあらゆる経路で鑑賞できる。
例：書道体験空間→書の中にある空間→書を上から見る空間
→書に囲まれた空間→パフォーマンス空間
・A→H→B→C→D ・I→H→B→C→D

平面構成



外壁・内壁の組子の壁

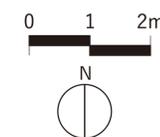
外壁、内壁は組子の壁で構成される。模様は空間によって異なる。

組子（内壁）

書を下から見る空間から組子を通して書に囲まれる空間が見える

組子（外壁）

書道体験をしながら組子の隙間を通して下から書を見る空間が見える



照度と色温度

照明器具は暖色光・白色光ともに主にスポットライト中角を使用。

暖色光						白色光					
照明	照射方法	床面照度 (lx)	色温度 (K)	演色性 (Ra)		照明	照射方法	床面照度 (lx)	色温度 (K)	演色性 (Ra)	
書の中にある空間	床から照射	100	3000 (電球色)	85		書を上から見る空間	床から照射	100	4200 (昼白色)	85	
書に囲まれた空間	天井から照射	100	3000 (電球色)	85		書を下から見る空間	天井から照射	500	6200 (昼光色)	85	
パフォーマンス空間 (創造性や誘発性を高める)	パフォーマンス専用 ※フォロースポットライトで点滅・調光可能	750	3500 (温白色)	85		書道体験空間 (文字を書くことを考慮した照度と色温度)	半紙を通して照射	100	4200 (昼白色)	85	

建物概要

用途：書道館 延床：319m²

地上1階，地下1階（所蔵庫）

半紙の透過率

40~50%。光は紙に垂直な方向を最大限として各方向に拡散する。

半紙の反射率

35~45%。光を柔らかく反射することで照明効率を高めることができる。

組子の厚さ 15mm

組子の素材 杉（源平材）

組子の空隙率 60~80%

構造 鉄骨・組子構造



I→H

隣の部屋の書と光が組子の隙間から漏れる。



A→B

奥の空間まで続く組子の重なり。



A 書道体験空間

書くことに適した照度と色温度の昼白色。



B 書を上から見る空間

書の周辺に照明を設置し、書の迫力さを演出。



C 書に囲まれた空間

書に包まれる体験。



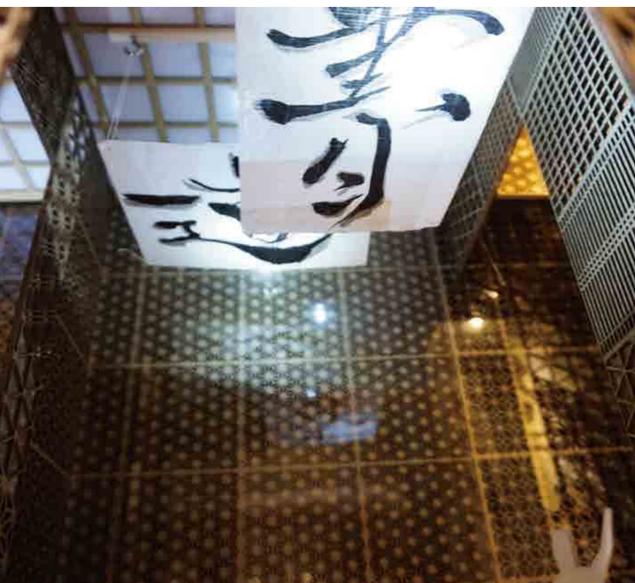
D パフォーマンス空間

調光・点滅機能によりさまざまなシーンを演出。



E 書を上から見る空間

書の周辺に照明を設置することで書が浮き上がる。



F 書を下から見る空間

書を通して透過光が漏れる。書が天井照明のよう。書の重なりや濃淡によっても光の透過率が変化する。



G 書に囲まれた空間

エントランスからGの部屋をみる。空間や組子の隙間から書が垣間見える。



H 書の中にある空間

空間を区切るように書を配置することで書の中にいるような体験。書を通り抜けるような感覚になる。



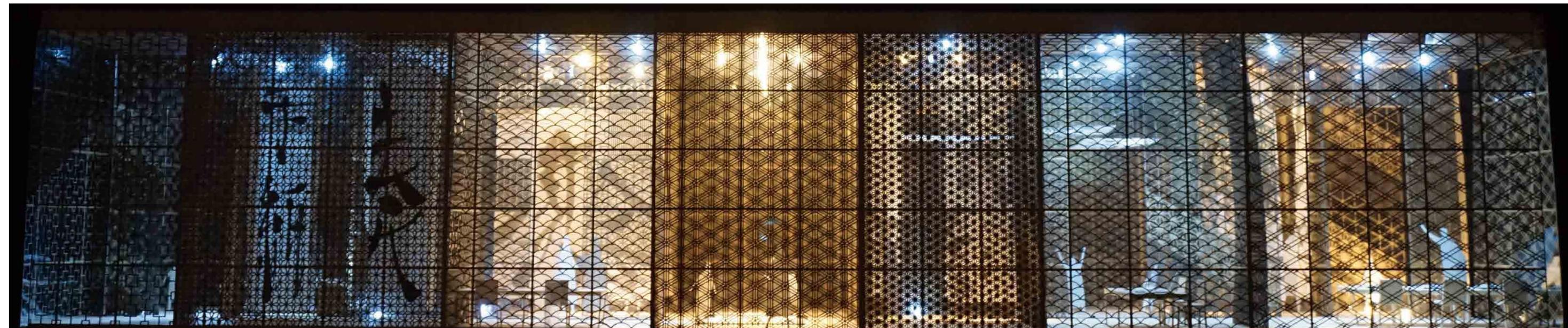
J 書に囲まれた空間

空間全体が大きな書1つになり包まれるような体験。



K 書を下から見る空間

書を通して透過光が漏れる。書が天井照明のようになる。



正面からの外観 書を透過した光が組子で仕切られた内壁や外壁から漏れ出し、建物全体が一つの行灯となる